

# 東京都現代俳句協会会報

発行人 今野 龍二  
発行所 東京都現代俳句協会  
〒113-0033 文京区本郷5-3-2-302  
長谷川はるか  
TEL-FAX 03-3814-1228

## 毎年開催へ順調なスタート

### 令和6年度俳句大会

東京都現代俳句協会は9月28日、台東区民会館（浅草）において「令和6年度俳句大会」を開催。応募総数1068句のなかから選ばれた各賞の発表と表彰を行いました。来賓として現代俳句協会 対馬康子副会長、全国俳誌協会の秋尾敏会長はじめ東京多摩現代俳句協会、神奈川県現代俳句協会、千葉県現代俳句協会からそれぞれの代表を迎えました。

大会は今野龍二幹事長の司会で進行。佐賀賀正美副会長の開会の言葉に続いて山本敏倅会長があいさつし、「この大会は都区協10周年からスタートし、以来5年おきに開催してきた。昨年40周年の節目を迎え、その際の議論で今年度から毎年開催とすることを決定した。天の時の利、人の和で実現したと言える」と述べま

した。次に松澤雅世常任顧問が大会後に実施される複数のブロックの吟行について「歩くこと、おしゃべりする」と、そして俳句。最高の健康法です」と参加を呼びかけました。来賓あいさつの後、入賞作品が発表され表彰式が行われました。

### ★現代俳句協会会長賞

青虫をつまめば放課後の匂い

山口県 平川扶久美

### ★東京都現代俳句協会会長賞

1席 雪たるとまみんに帰られてしまふ

埼玉県 田口 武

2席 線香花火記憶が嘘をついてゐる

埼玉県 久下 晴美



平川扶久美さんと山本会長

3席 べつたらを厚く人情断かな

東京都 長谷川はるか

### ★全国俳誌協会会長賞

骨ひとつひとつに名前春しくれ

東京都 加那屋こあ

### ★俳句のまちあらかわ賞

地球忌が来るかも知れぬ鳳仙花

東京都 石口 榮

### ★台東区あしたの俳句賞

水中花テレビの中の民主主義

東京都 川崎 果連

### 新人歓迎会と一句持ち寄り句会も

最後に長谷川はるか総務部長が新入会員を紹介。大会終了後は新入会員歓迎会を兼ねた「一句持ち寄り句会」。76人が参加しました。句会のなかでは今野幹事長が「増田龍雨 II」と題して講演しました。

### 一句持ち寄り句会

### ★特別選考賞

東京都現代俳句協会 山本敏倅会長 特選

体内のアンブ全開つくつくし 菅沼 葉二

全国俳誌協会 秋尾敏会長 特選

東京の闇のでこぼこ螻蛄鳴けり 徳吉洋二郎

東京多摩地区現代俳句協会

水野星蘭会長 特選

虫の声聴き分けられぬまま老いて 長谷川はるか

神奈川県現代俳句協会

尾崎竹詩名譽会長 特選

体内のアンブ全開つくつくし 蒼沼 葉二

千葉県現代俳句協会 徳吉洋二郎副会長 特選

秋の風往復二十五分ほど

都区協 佐怒賀正美副会長 特選

わたくしの時間をくれという花野 小湊こぎく

都区協 中内火星副会長 特選

一葉落つわりに気楽な孤独感

都区協 今野龍 幹事長 特選

金婚や誤算に打算金糸草

都区協 瀬藤芳郎副幹事長 特選

早すぎないか晩年も晩秋も

都区協 松澤雅世常任顧問 特選

縄文の海はここから曼殊沙華

都区協 松田ひろむ顧問 特選

そう確かにぬるま湯でした終戦忌

都区協 小高沙羅顧問 特選

鬼灯の中よつまみ出す昭和

俳誌「実の会」桑田真琴代表 特選

梨らしい梨になります泣き上戸 なつはづき

〈新入会員の作品〉

引き潮や水際に跳る鱈の群れ

秋高し浅草寺には門三つ

少年は額より熟す天高し

秋濁きお肉を見つお魚に

十六夜や電気ブランとゆるりゆらり

縄文の海はここから曼殊沙華

曳舟の蕎麦割烹や秋日和

ハロウインのまだ濡れてゐる南瓜の瞳

鳳仙花爆ぜ学舎に声湧きぬ

石田 弥生

さとうみなこ

山月 恍

北山 星

米原 拓土

高矢 実来

渡邊すみれ

田島 実桐

星野 愛

〈参加作品〉(高票20句)

1 銀座線降りて秋思に乗換へる

2 早すぎないか晩年も晩秋も

3 鬼灯の中よつまみ出す昭和

4 危なげな地球に根付く草の花

5 一葉落つわりに気楽な孤独感

6 鉄分もビタミンも足り蛇穴へ

7 風にまだ少し棘あり台風過

8 吊し柿旧姓澁井と申します

9 団栗や走れば兄に会へさうな

10 虫の声聴き分けられぬまま老いて

一井 魁仙

小高 沙羅

石口りんご

西本 明未

山口 紀子

青木 栄子

櫻井 了子

國分 三徳

宮村 明希

長谷川はるか

石口 榮

高矢 実来

今野 龍二

山本 敏偉

徳吉洋二郎

川崎 果連

尾崎 竹詩

石山 正子

山月 恍

田口 武

11 赤ん坊の拳ほどけて豊の秋

12 縄文の海はここから曼殊沙華

13 ためらいは忘れたはずの夜の桃

14 仲見世をふつうに抜けて九月尽

15 東京の闇のでこぼこ蝶蛸鳴けり

16 秋の蝶がれきの町を離れざる

17 山は山母には母の冬支度

18 少年は額より熟す天高し

19 水澄むと笹舟が流れて来さう

20 水澄むと笹舟が流れて来さう



山本会長（左から4人目）と新入会員の皆さん

都区協Dブロック吟行

2024年10月14日（スポーツの日）

新宿御苑・四谷区民センター

夏の異常な暑さの余波なのか、当日も蒸し暑い夏日でした。御苑の紅葉はまだしもの状態でしたが、広大な公園には樹木や花卉など見どころが多く散策が楽しめました。苑内には訪日客なのか外国の方が目立っていました。

昼からは隣接する会場で句会を開催。参加者は39人、78句の個性あふれる作品が揃いました。今村たかしDブロック代表から、金子兜太のふるさと皆野町をめぐる興味ある講話があり、その後、選句、披講と続きました。そして、特別選者による講評のあと、成績発表が行われ、句会はお開きとなりました。それから懇親の場へと移り、楽しい晚餐となりました。

ご参加の皆様には深く感謝申し上げます。

《特別選者特選句》

山本敏倅会長 特選

秋蝶と同じ体温で自由

佐怒賀正美副会長 特選

この選挙ばらり内藤とうがらし

中内火星副会長 特選

秋寂ぶにドラえもん飛ぶ御苑かな神田 千風

青木 栄子

松田ひろむ

長谷川はるか副会長 特選

取引はわたし一人とどんぐり何個 中内 火星

今野龍一幹事長 特選

取引はわたし一人とどんぐり何個 中内 火星

松田ひろむ顧問 特選

どんぐりや類想の实のたわわなる 川崎 果連

小高沙羅顧問 特選

透明な吐息十月さくらかな 栗原かつ代

今村たかしDブロック代表 特選

踵より踏み込む御苑どっと秋 石口りんご

《参加作品》高志順

1 地図読めぬ女とどんぐり持ち歩く 岡崎 久子

2 秋蝶と同じ体温で自由 青木 栄子

3 透明な吐息十月さくらかな 栗原かつ代

4 百歳へいろは紅葉を愛でながら 小高 沙羅

5 秋うらら樹々に水彩画の匂ひ 西本 明未

6 秋の御苑スマホに歩数褒められる 讃岐 幸江

7 秋気澄む古木の腕に座りたし 長谷川はるか

8 ニンゲンは眼中になしアキアカネ 瀬藤 芳郎

9 新箱はふぞろいの街天高し 川崎 果連

10 初紅葉人は優しく老いてゆく 石口 榮

11 踵より踏み込む御苑どっと秋 石口りんご

12 この選挙ばらり内藤とうがらし 松田ひろむ

13 まだ夏のつづきのような赤い靴 栗田希代子

14 根っこから秋気吸い取る落羽松 榎並 恵那

東京都現代俳句協会

令和7年度定時総会

一句持寄り句会・懇親会

令和7年度の定時総会及び一句持寄り句会・懇親会を左記の通り開催致します。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。 会長 山本敏倅

日時 令和7年3月15日(土)

総会 午後1時より

句会 午後2時30分より(投句締切一時)

懇親会 午後5時30分より

会場 台東区民会館8階 第5会議室

(台東区花川戸2-6-15)

浅草寺二天門近く

Tel 03-3843-1539

・東武線・地下鉄銀座線 浅草駅から徒歩約5分

・都営浅草線 浅草駅から徒歩約8分

会費 総会〓無料。句会〓1,000円

申込締切 2月14日(金) 必着

参加申込 長谷川はるか宛

〒113-0033 文京区本郷5-3-21302

Tel 03-3814-1228

15月桜日本にノーベル平和賞  
(以下順同)

戦にはまだ幼くて槍鶏頭

後すさり空ごと十月桜なり

体脂肪を連れ歩くスポーツの日

大樹抱き人生の秋リフレッシュ

鴨鳴いて台湾閣の池騒ぐ

天高し傘寿の恋バナ活歩する

大木戸をくぐるは秋の風ばかり

あやまたず秋のこの世に気根たち

さざめきはがまずみの実よ少女等よ

実を丸くハンカチノキの偏屈

江戸地図の水の流れに赤のまま

ちゃんばらで斬られ秋天ジェット雲

冬日和鉛筆の芯ほどにビル

金秋の古樹の言葉を守りけり

十月桜あつたあつたと吟行す

秋蝶を捉えんと木々枝ひろげ

気のせいと思う鱗雲の信号

秋晴の新宿御苑二区跨ぐ

玉砂利は旅のことほぎ水の秋

金木屋開店セールはあしたから

新米のおむすび鳩におすそ分け

新宿へ戦さ支度の赤とんぼ

赤澤 敬子

今村たかし

櫻木美保子

中内 火星

高橋 透水

白石 正人

磯部 薫子

豊島月舟斎

佐怒賀正美

坂本 君江

小湊こぎく

今野 龍二

安藤 草太

大山実知子

見目 千絵

渡邊すみれ

ダイゴ鉄哉

横山 小鼓

五十嵐秀山

山月 恍

高矢 実來

宮川 夏

山本 敏偉

ベンチにて言葉格闘秋つらら  
秋つららベンチの釘を見過ごせり

神田 千風

上野 英一

(瀬藤芳郎・記)

### 都区協Cブロック吟行

2024年11月7日(木)

穴八幡・箱根山

立冬を迎えCブロックの吟行は穴八幡宮と箱根山で実施された。それこそガラスの天井のごとく秋晴れで、32名にお集まりいただいた。穴

八幡宮は創建1062年、奥州の乱を鎮圧した源義家が凱旋の折、日本武尊命の先蹤に習ってこの地に兜と太刀を納めて氏神八幡宮を勧請し、永く東北鎮護の社として祀られることになった。そつだ。

1641年に当社の南側を切り開いていると横穴が見つかり、中から金銅製の阿彌陀仏如来像が出てきた事から穴八幡宮と言われた。御祭神は應神天皇、仲哀天皇、神功皇后。冬至祭の日から節分まで頒布する一陽來復御守は他に類例のない全国唯一のものとのこと。又毎年スポーツの日には流鏑馬神事が都立戸山公園にて行われており、昭和63年には新宿区の無形民俗文化財に登録された。更に蟲封祈禱は年々増加し二代三代に渡り御祈禱を受けている方もある。

夏目漱石の妻鏡子も夫の蟲封祈禱の為に訪れていたらしい。

箱根山は都立戸山公園内にあり、かつてこの

辺りは江戸随一の大名庭園と称された尾張徳川

家下屋敷「戸山荘」があった。高さ44.6M

で尾張藩二代藩主・徳川光友が造営を開始した

下屋敷の大庭園に築かれた人工の山。今では四

方樹々に囲まれて残念なことに見晴らしは楽しめない。

講演は馬場龍吉氏による「蕪村の目指したものは？」であった。蕪村は俳号を「宰鳥」「夜半亭(二世)」と名乗り、画号は「春星」「謝真

など複数ある。正岡子規は「俳人蕪村」で高く評価していたが、子規と虚子の写生俳句説とは

かけ離れているようにもみえると馬場氏は疑問を呈している。室井其角、服部風雪、夜半亭巴

人に俳諧を学び画にもいそしむ蕪村。年表を追

いながら蕪村の誕生から亡くなるまでゆかりの

あった人々との交流を語られた。

※馬場龍吉市氏 プロフィール

「蒐代表 第49回(2004年)角川俳句賞受

賞 「銀漢」誌、「晶」誌のデザイナーも務める

※成績は以下の通り(高占順)

1陸軍の学徒還らず冬さくら

2煩惱の一つや二つ槐の笑

栗原かつ代

青木 栄子

3 賽銭の渴いて響く神の留守

4 立冬の時の歪みへ蟲封じ

5 かしこみかしこみ穴八幡宮の穴惑

6 冬立つや穴は見せない穴八幡

7 築山の天下の陰に冬来る

8 こがらしに一号二号大統領

9 選筆果つ毒キノコにはご注意を

10 初冬や青旗一行箱根山

11 冬蝶のたましいふわり放生寺

12 まだ元氣なれど今日から冬の蝶長谷川はるか

13 ガラスの天井こんなに晴れて冬立つ日

14 まだ枯れぬ古木にありし反抗期

15 うねる根の年月太し冬来たる

★山本敏倅会長 特選

冬蝶のたましいふわり放生寺

★中内火星副会長 特選

こがらしに一号二号大統領

★長谷川はるか副会長 特選

ガラスの天井こんなに晴れて冬立つ日

★今野龍二幹事長 特選

選筆果つ毒キノコにはご注意を

★瀬藤芳郎副幹事長 特選

陸軍の学徒還らず冬さくら

釜田 二美

西本 明未

馬場 龍吉

中内 火星

瀬藤 芳郎

川崎 果連

白石 正人

讃岐 幸江

高橋 透水

栗田ひろむ

栗田希代子

西崎ひさ江

高橋 透水

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

川崎 果連

★松田ひろむ顧問 特選

冬に入る戸山学校黒く塗れ

★青木栄子監査役 特選

賽銭の渴いて響く神の留守

★馬場龍吉講師 特選

神留守の穴八幡の薦被り

※以下順不同

嗚呼この息吹菰卷か義家か

立冬の木霊のような賽銭音

八幡の黒き手触り冬ぬくし

御朱印まつ人のまばらや冬日向

落葉の香陸軍野外音楽堂

小春風言の葉の碑をききむ朝

色鳥の四三二一もういない

尖塔は戦禍を語る冬の蝶

立冬の老女生き生き階登る

箱根山目指し天下は冬に入る

穴感かしわ手不要放生寺

立冬の箱根山から富士の山

冬青空賜はる朱の鳥居かな

秋蝶の先客ありし箱根山

鰯口に願ひ幾度今朝の冬

おみやげの銀杏ひろう屋敷跡

現世に仮の姿と狂ひ花

今野龍二

釜田 二美

讃岐 幸江

石口りんご

山本 敏倅

見目 千絵

加那屋こあ

横山 小鼓

渡邊すみれ

今野 龍二

五十嵐秀山

石口 榮

宮川 夏

榎並 恵那

### ●都区協 春の吟行会

実施日 令和7年4月23日(水)

吟行場所 神田明神から湯島聖堂へ

《見どころ》パワースポットと呼ばれる

神田明神。徳川幕府学問所の湯島聖堂。

集合 神田明神鳥居前 午前11時

受付後、一緒に吟行、又は自由吟行 別

の日でも可。

申込締切 4月22日(火)

会費 1,000円(通信費賞品代)

投句 嘱目2句

出句締切 4月30日(火)

参加申込 企画部 宮川 夏宛

葉書・FAX・メール

(※参加者、氏名・住所・電話番号を明記)

住所 〒165-0033 中野区若宮2-10-11

Tel 080-3452-2577

Fax 03-3339-9841

メール番号 natsuchan82@gmail.com

# 東京都現代俳句協会 令和7年度俳句大会 作品募集

大会期日 令和7年9月20日(土) 午後1時より

● 会員以外の方の投句大歓迎  
□ 応募規定 2句1組・1,000円

何組でも可・未発表作品に限る

前書き不可・所定用紙(コピー可)

またはWEBフォームにて投句

投句料 ① ゆうちよ銀行振込 ② 定額小為替

③ 現金書留 投句と同時に納入

□ 送り先 〒167-0053 東京都杉並区西荻南4-18-11  
磯部 薫子 方

都区協令和7年度俳句大会係

□ 締切 令和7年4月30日(水) 当日消印有効

□ 当日会費 一句持寄り句会参加費1,000円

懇親会 交渉中

□ 発表 大会席上および都区協会報

投句者には作品集進呈

□ 表彰 現代俳句協会会長賞・都区協会会長賞・

全国俳誌協会賞・俳句のまちあらかわ賞・台東区あ

したの俳句賞・秀逸賞・佳作賞

★ 応募規定に反した場合は発表後でも入賞を取り消す

ことがあります。

□ WEBフォーム

URL: <https://forms.gle/Q7BZBCGJkozvYCF7>

↓



こちらのQRコードから  
アクセス出来ます

【ゆうちよ銀行振込】

記号番号: 総合口10550-13754531

インベセイコ「磯部聖子」

他行からの場合: 普通〇五八店1375453

※ 振込手数料自己負担

# 東京都現代俳句協会 令和7年度初心者講座 受講者募集

於: 一般社団法人現代俳句協会 本部図書室

前期: 4月~7月 第2土曜日13時30分~16時30分

定員18名

講師: 川崎果連(現代俳句オープンカレッジ講師)・

2句事前投句

4月12日、5月10日、6月14日、7月12日

申込締切4月5日(同時に投句)

後期: 10月~令和8年1月

第2土曜日13時30分~16時30分

定員18名

講師: 高橋透水(現代俳句オープンカレッジ講師)・

2句持ち込み

10月11日、11月8日、12月13日、令和8年

1月10日

申込締切10月6日

受講料: 各期4,000円

申込先: 都区協初心者講座担当 栗原かつ代

現代俳句協会事務所

03-3383-9819(返信いたします)。

\* 知人友人にお勧めくださいますようお願いいたします。

(二社) 現代俳句協会

東京都千代田区外神田6-1-5 4倍楽ビル(外神田)7階

アクセス: JR秋葉原駅・御徒町駅より15分

地下鉄銀座線末広町駅より3分

地下鉄千代田線湯島駅6番出口3分

Tel 03-3383-9819 0 Fax 03-3383-9819 1

◎ 地図などの検索先

ホームページ: <https://gendaihaiku.gr.jp>

Twitter: <https://twitter.com/gendaihaiku>

# Aブロック「初夏の吟行会」

— 波郷の町で名句を詠もう —

2025年5月27日(火)

吟行：江東区砂町銀座周辺(自由吟行)

受付：12時 開始 句会：13時

出句：囁目2句(13時締め切り) 会費：1,000円

句会場：江東区砂町文化センター・サブ・レクホール

江東区北砂5-1-1-7 Tel.03-36640-1751

交通：★都営地下鉄新宿線「西大島駅A4出口より

1.都バス都07系統「門前仲町」行き

★J.R総武線「錦糸町」駅より

2.都バス都07系統「門前仲町」行き

★東京メトロ東西線「東陽町」駅1番出口より

3.都バス都07系統「錦糸町駅前」行き

※1〜3とも「北砂二丁目」下車徒歩8分

(砂町銀座中程からすぐ)

※要所に案内係がいます。

申込先：川崎 果連

〒135-0016 江東区東陽1-30-8-404

Tel.090-7410-9543

Mail Karen.kawasaki.2016@gmail.com

申し込み締め切り 5月10日(土)

懇親会：場所未定

## 東京都区現代俳句協会

### 発展基金募集について

当協会の円滑充実した事業活動運営のため、発展基金を募集いたします。

会員各位におかれましては、左記の要領にてご協力賜りますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

一口一〇〇〇円(何口でも結構です)

都区協現代俳句協会会長 山本 敏倅



#### 振込番号

001105539619

#### 加入者名 東京都区現代俳句協会

\* 同封の振替用紙をご使用ください。

\* ネット振込み利用可。

郵便振替払込受領証にて領収書に代えさせていただきます。

基金担当 石口 榮

令和6年

発展基金寄付者芳名

(9月1日から11月30日分  
まで。敬称略順不同)

ご支援ご協力を深謝申し上げます。

十口 桑田 真琴

五口 阿部 周二  
江原 玲子

二口 遠藤 久子

一口 紺野 望  
匿名

第38回高田馬場「秋」句会報

令和6年10月1日(火)

兼題「稲妻」又は「稲光」・席題「闇」

10月に入ってもまだ暑い中、28名の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

(結果発表)

- 1 出来心だけでは済まぬいなびかり  
今野 龍二
- 2 闇雲に打つ秋の蚊のこんちくしやう  
讚岐 幸江
- 3 闇バイトとふ一線を蠡蝨  
長谷川はるか
- 4 稲光らあ麵店の裏メニュー  
相沢 幹代
- 5 闇米を食わぬ人あり秋深し  
川崎 果連
- 6 猫の眼の撃ち返へすなり稲光  
松澤 雅世
- 7 稲妻や夫にもあつた煙草の香  
青木 栄子
- 8 秋の蚊や如雨露の闇のがらんどう  
見目 千絵
- (以下順不同)
- 甲虫の背中ざらりと稲光  
安藤 草太
- 闇王に恋人ありと曼殊沙華  
山崎 百花
- 稲光心の籠をはずされる  
山口 紀子
- 漆黒の闇をへだてて髪洗う  
北村真貴子
- みぞおちの予期せぬ痛み虫の闇  
磯部 薫子

和平への道はくるくる稲光  
宮川 夏

稲光パーティー券のなお冥く  
高矢 実來

宵闇に洒落たドレスの銅版画  
大橋 愛子

タキるとは頻脈のこと稲びかり  
白石 正人

いなづまに耳だけ動かし猫寝る  
藤井 圭子

鳩尾に鬼が棲みつくと暁闇  
石口 榮

稲妻と一瞬白痴なる私  
ダイゴ鉄哉

虫鳴いて男女の闇の伸縮す  
高橋 透水

はじめましてと囲む闇汗雨の音  
蓮尾 碩才

工場の夜景突き刺すいなびかり  
赤澤 敬子

稲光おちおちできぬ風見鶏  
江原 玲子

地下街の闇ある所色鳥來  
坂本 君江

天高し脳検講座は闇の中  
渡邊すみれ

高田馬場「春」句会のご案内

日時 令和7年4月1日(火)  
午後12時半 受付開始

会場 JR高田馬場駅前Fビル8階

会費 1,000円

兼題 「鳥帰る」または「鳥引く」

句会内容 2句投句・互選6句内1句特選

参加申込 見目千絵(定員30名)

TEL 090-4225-0989

(シオートメールによるお申込みの際にはご自分の氏名をお書き添えください)

いなびかり受胎告知の響きかな  
松田ひろむ

稲妻や我が身にいくつ連結器  
川目 智子

編集後記

俳句を定義つけたがる議論が聞こえる。かつて教科書から有季定型以外の俳句を駆逐しようとしたうごきがあったことを思い出す。

林桂さんは『蠶(TATEGAMI)』2024年11月号で、「有季定型は近代俳句が生んだ一つの美学であって、俳諧の原初から求められていたものではないことは、研究者などによって明らかになっている」と述べている。

現代俳句協会の協会案内には「有季定型で作る人たちのほか、有季・無季を問わず定型で作る人、さらには口語書きや自由律で作る人までさまざまな俳句観の人たちが集まっています」という文言がある。それがまさに「俳句」なのではないか—と思う。

広報部・編集室

〒135-0016 東京都江東区東陽

1-30-8-404 川崎果連方

TEL 090-7410-9543

メール: karenkawasaki.2016@gmail.com